令和5年度 西城小学校グランドデザイン

学校教育目標

自分の考えを持ち、思いを表現することのできる子どもの育成

―― やさしく かしこく たくましく ――

めざす子ども像

○互いに認め合い思いやりの心をもつ子（やさしい子）　○主体的に考え学ぶ子（かしこい子）　○自分を高めようと粘り強く努力する子（たくましい子）

重点目標

1 学習意欲の向上と学力の定着
2 望ましい人間関係の構築を通した居心地のよい学級づくり

育てたい資質・能力　①相手を思いやる心　②言語能力　③判断力　④自制心　⑤問題発見・課題解決力　⑥活用力　⑦粘り強さ　⑧向上心

【重点】育てたい資質・能力　言語能力（伝え合う力の育成）

家庭との連携

地域との連携

心の教育の充実

①人間関係力の向上を図る。
　○生徒指導の４機能を生かした活動の実施
　・縦割り班の活動
　・児童委員会活動の充実
　・清掃活動
　・花園、教材園の活用
②道徳教育の充実を図る。
　・重点指導項目の実践
　・体験活動の充実といじめ防止

学習意欲の向上と学力の定着

①質的授業改善の日常化
②他者と関わりながら、課題の解決に向かい「問い」が生まれる学習活動を展開する。
③教材研究を充実させる。
④学習を支える力の育成を行う
⑤キャリア教育に関わる４つの能力の育成を図る。
⑥読書活動の充実を図る。
⑦ＩＣＴ活用や情報教育の推進
⑧小中連携した学力向上を図る。

健康・安全教育と体力向上充実

①　教科体育の充実（目標を設定し、積極的に運動に親しむ学習の工夫改善）
②　体力・運動能力の向上を図る。
　・体育集会の実施
　・年間継続１運動の実践
③　健康・安全教育の充実
　・児童委員会活動の充実
　・用具の後片付け、整理整頓の徹底

望ましい人間関係の構築を通した居心地のよい学級づくり

①支持的風土のある学級づくりを行う。
②関わり合いを持つ機会・場の意図的・計画的な設定を行う。

【経営方針】　「子ども達も教職員も明るく、元気に前向きに」活動できるよう、全職員で創意工夫し、計画(P)・実施(D)・評価(C)・改善(A)を行い、ベクトルを合わせ教育活動を推進する。

資質・能力の育成

何ができるようになるか

（資質能力の育成）
①主体的に「問い」を持ち、自分なりの考えを持つ
③他者との交流を通し(伝え合う)、「問い」が生まれ自分の考えを広げ深める。
④教科等で身に付けた事を学習や生活の中で判断し、活かす。

何が身に付いたか

（自ら学習したことの意義や価値を実感する）
①課題に直面した時、場面を把握し、進んで解決しようとしている。
②考えや調べたこと等について、友達と話し合い、自分の考えを再構成している。
③伝える相手や状況に応じて、方法や言葉等を選択して発信している。

子どもの発達をどのように支援するか

（児童に寄り添った見方・関わり方）
①生徒指導４つのポイントに基づいた指導・援助を行う。
②子ども理解に努め、個性への配慮を行う。
③職員間で情報を共有し協働して支援に当たる。
④支援員、保護者、関係機関と連携し、子ども一人一人の教育的ニーズを把握し支援を行う。

何を学ぶか（教育課程の編成）

①根拠を持って考え、伝え、自分の考えと比べながら話しを聴く学び方を身に付ける。
②基礎学力を身に付ける（教科言語、語彙力、漢字力、計算力を高める
③各教科で身に付けた力を学習や生活の中で活用する。

どのように学ぶか（教育課程の実施）

①「西城小学ぶ君」を活用し「西城小授業の基本」の学習スタイルでの授業
②「その日の学びの振り返り」を踏まえた活動及び家庭学習の習慣化
③教科間、学年間のつながりを踏まえた活動
　カリキュラムマネジメントの実施

子どもの育ちが見える学校づくり